

【施設状況】

| | | | | | | | | | |
|--------|---|------------------|-------|---------|----|------|---------|----|-------|
| グループ名称 | 知的障害者更生施設（ひかり学園） | | | | | | | | |
| 指定管理者名 | 10004 | 社会福祉法人長野市社会事業協会 | | | | | | | |
| 所管課 | 主 | 102000 | 障害福祉課 | 副 | | | | | |
| 構成施設 | 1413 | 知的障害者更生施設(ひかり学園) | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 施設分類 | 05 | 保健福祉・医療型 | | 施設利用者圏域 | 02 | 広域施設 | 利用制適用区分 | 02 | 利用料金制 |
| 施設概要 | 居室 51室（2人部屋 31室、1人部屋 20室）、短期入所専用室 4室、食堂 1室、厨房 1室、浴室 1室、作業室 3室、事務室 2室（職員室 1室、事務室 1室）、会議室 1室、医務室 1室、体育室 1室（ステージ付） | | | | | | | | |
| 施設設置目的 | 施設に入所する障害者に対し、主として夜間における、入浴、排泄、食事等の日常生活上の施設入所支援を行うとともに、日中は生活介護等の障害福祉サービスを提供することにより、障害者の福祉の増進を図る。 また、地域で生活する障害者の一時的な受け入れなど支援の充実に努め、併せて保護者の介護にかかる負担の軽減を図る。 | | | | | | | | |
| 基本方針等 | <ul style="list-style-type: none"> 施設は、利用者に対して、自立と社会経済活動への参加を促進するため、必要な介護及び訓練を適切に行うものとする。 利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立ってサービスを提供するように努める。 できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、指定相談支援事業者、保険医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。 | | | | | | | | |
| 主な実施事業 | <ul style="list-style-type: none"> 生活介護 自立訓練（生活訓練） 施設入所支援 短期入所 | | | | | | | | |

【項目評価基準表】

| 評価 | 評価基準 |
|--------------|---|
| 5 (優れている) | 協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい |
| 4 (良い) | 協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上 |
| 3 (普通) | 協定、計画が予定どおり実施された |
| 2 (劣る) | <ul style="list-style-type: none"> 協定、計画の一部が予定どおり実施されない 管理運営の一部において、市の指導が必要 |
| 1 (悪い) | <ul style="list-style-type: none"> 協定、計画が全て実施されない 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない |

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

| | | | | | |
|-----------|---|---|------------|------|----------------------|
| 指定管理者名 | 社会福祉法人長野市社会事業協会 | | | 指定回数 | 2 回 |
| 指定期間 | 平成23年4月1日 | ～ | 平成28年3月31日 | 5年 | 管理運営開始日 平成18年4月1日 |
| 指定管理者の健全性 | 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。 | | | | 評価 3 |
| | 特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入) | | | | |

2 施設の有効活用

No. 34

| | | 利用区分等 | 単位 | H23 | H24 | H25 | H26 | 対前年比 | 評価 |
|---|-------|--|-----|-----------------------|--|------|------|---------|----|
| 施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など) | | 生活介護 | 人/日 | 旧法施設として 実施 72.0 | 56.9 | 58.2 | 71.7 | 123% | 3 |
| | | 自立訓練(生活訓練) | 人/日 | | 16.3 | 11.6 | 0.0 | 0% | |
| | | 施設入所支援 | 人/日 | 73.0 | 69.3 | 70.9 | 102% | | |
| | | 短期入所 | 人/日 | 3.6 | 3.4 | 3.4 | 4.7 | 138% | |
| | | | | | | | | #DIV/0! | |
| | | | | | | | | #DIV/0! | |
| (特記事項) H26年度より、自立訓練については休止している。 旧法施設(知的障害者入所更正施設) | | | | | | | | | |
| 事業実施内容 | 区分 | 協定内容・指定管理者提案 | | | 追加事業、未実施事業及び未実施の理由 | | | | |
| | 市指定事業 | <ul style="list-style-type: none"> 生活介護 定員 74人 自立訓練(生活訓練) 定員 6人 (H26年度から休止) 施設入所支援 定員 78人 短期入所 定員 6人 (H26年度から定員4→6に増) 施設及び設備の維持管理 | | | <自立訓練> H26年度から利用者がいないため、休止している。 | | | | |
| | 自主事業 | | | | <追加事業> 生産活動として、農作業、しいたけ作業、薪きり結束作業、室内作業などを行っている。 | | | | |
| サービス維持・向上の取組み(広報等) | | <ul style="list-style-type: none"> ホームページや施設パンフレット等でPRしている。 毎月、機関紙「ひかりだより」を発行し、保護者家族に情報提供を行っている。 VTRを用いた行事報告会や家族との懇談会、交流行事を開催し、家族とのつながりを深めている。 | | | | | | | |

3 利用者評価

No. 34

| | | 区分 | 内容 | 評価 |
|-----------------|------------------|----------------------|---|----|
| 利用者評価 | 利用者要望把握 | (1) 利用者要望把握方法 | 利用者会議等 | 3 |
| | | (2) 調査、会議等の内容 | 2ヶ月に1回行われる保護者会で要望・苦情の集約を対応しているほか、苦情受付担当者を置き、直接の提案を受け付けている。また、利用者の栄養スクリーニングに活用するため食事の嗜好調査を行っている。 | |
| (3) 調査、会議等の結果 | 施設整備に関する要望が出された。 | | | |
| | 利用者からの評価・要望・苦情等 | (1) 良好とする評価 | 誕生日には、誕生日メニューとして何でも好きなメニューをリクエストに応じて提供しプレゼントを贈るなど、施設利用者に喜ばれる取り組みを実施している。 | |
| (2) 苦情・改善等の要望事項 | | 特殊浴槽の設置について、設置要望がある。 | | |
| | | <<対応措置>> | 設置に向けて、検討している。 | |

4 事業収支

| 事業収支 (単位：円) | 指定管理者収支（平成26年度） | | | | 市の収支 | | | | 評価 |
|---|---|---|---|---|----------|-------|---------------|-------|-------|
| | 年度計画額 | | 収支実績額 | | 平成26年度決算 | | 平成25年度決算（前年度） | | |
| | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | |
| 収入 | 利用料金 | 286,531,000 | 利用料金 | 301,277,332 | 歳入 | 使用料 | 0 | 使用料 | 0 |
| | 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入 | 16,419,000 | 指定管理料 委託料 販売収入等 その他収入 | 17,871,905 | | | | | |
| | 計 | 302,950,000 | 計 | 319,149,237 | | 計 | 0 | 計 | 0 |
| 支出 | 人件費 | 172,187,000 | 人件費 | 169,970,824 | 歳出 | 指定管理料 | 0 | 指定管理料 | 0 |
| | 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他 | 2,677,000 5,151,000 2,874,000 62,423,000 30,564,000 21,242,000 | 設備管理費 備品購入費 修繕費 光熱水費 事業費 事務経費 本社経費 その他 | 2,555,035 6,875,588 1,717,659 61,472,315 29,842,833 21,113,074 | | | | | |
| | 計 | 297,118,000 | 計 | 293,547,328 | | 計 | 0 | 計 | 0 |
| 自主事業 | 収入 | 258,000 | 収入 | 215,880 | | | | | |
| | 支出 | 258,000 | 支出 | 215,880 | | | | | |
| | 自主事業損益 | 0 | 自主事業損益 | 0 | | | | | |
| 損益 | | 5,832,000 | | 25,601,909 | 差引 | | 0 | | 0 |
| 人件費比率【人件費(賃金等)／平成25年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合) | | | | | | | | | 57.9% |
| 本社経費が、計画額と実績額で異なる理由 | | | | | | | | | |

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

| 区分 | 確認内容 | チェック欄 | 評価 |
|------------|---|-------------------------------------|----|
| 職員配置 | 1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 配置実績 (うち市内雇用職員数) 36人(33人) | | |
| | 2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか | | |
| | 3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | | |
| 平等利用 | 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | | |
| 経理 | 2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか | | |
| 施設・備品の維持管理 | 2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか | | |
| セルフモニタリング等 | 2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | | |
| | 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか | | |

| 区分 | 確認内容 | チェック欄 | 評価 |
|--|------------------------------|-------|----|
| 危機管理体制 | 安全対策 | ☑ | 3 |
| | 1 危機管理マニュアルなどが整備されているか | | |
| | 2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか | | |
| | 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか | | |
| | 個人情報保護 | ☑ | |
| | 防犯、防災対策 | ☑ | |
| 1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか | | | |
| 2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか | | | |
| 緊急時対応、体制 | ☑ | | |
| 1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | | | |
| 2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか | | | |

7 地域連携

| 地域連携 | 評価 | | |
|---|----|--|--|
| 地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。 | 3 | | |
| 協定内容・指定管理者提案 | | | 追加された内容、未実施の内容及びその理由 |
| なし | | | 体育館の無料開放を行っているほか、毎年、防災訓練のうち1回を地域とともに夜間総合訓練として実施するなど地域との協働関係を築いている。 |

【総合評価】

| 評価項目 | 評価 | 得点 | 総合評価 | |
|-----------|----|----|-----------------------|--|
| 指定管理者の健全性 | 3 | 6 | 合計得点 60 | |
| 施設の有効活用 | 3 | 6 | | |
| 利用者評価 | 3 | 12 | | |
| 事業収支 | 3 | 6 | | |
| 管理運営全般 | 3 | 12 | | |
| 危機管理体制 | 3 | 12 | | |
| 地域連携 | 3 | 6 | | |

| | |
|------|--|
| 評価理由 | 施設の設置目的を理解し、利用者が安心して利用している。家族会（保護者会）等との連携を図りながら事業が実施された。管理経費についても経費の節減に努め、指定管理者として適切に事業運営にあたった面は評価できる。 |
|------|--|

| 取組み・改善案等 (施設所管課) | 前年度からの課題 | 改善状況 | 改善案等（改善されていない場合） |
|---------------------|----------|------|------------------|
| | | | |

| | |
|------------------------|--|
| 次年度の目標・取組み等 (施設所管課) | 車椅子、歩行器、杖等の利用者増に伴い、施設管理や利用者支援を適切に実施する。 |
|------------------------|--|

指定管理者自己評価

B

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ 法人のグループホームの空き室を利用しての宿泊体験を通して、5名の利用者がグループホーム(サンハイツほしな)に移行した。また、移行したことにより空き部屋になった部屋を利用して障害特性に応じた活動場所の確保と通所利用者のための部屋を確保した。
- ・ 理学療法士と契約して週1回生活上で行うことのできるリハビリと機能維持のための理学療法を実施した。
- ・ 高齢化、重度化する利用者へ快適な入浴環境を提供するためにリクライニングシャワーチェアを導入した。
- ・ 短期入所においては養護学校、他事業所と連携し利用者を受け入れた。また、緊急時の利用に対応するために事前に見学、体験、自立サポートやタイムケアを利用するなど計画的に短期入所を利用できる体制を整えた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・ 法人では、そのスケールメリットを生かして事業部制を導入しています。当施設は障害者支援南部事業部に所属し、障害者支援に必要な人材育成(研修プラン)の実施、事業部に共通した課題への取り組みや余暇支援を実施した。
- ・ 法人各施設で共通する購入品等については法人本部や取りまとめ施設を選定し、一括購入することにより業務の効率化とコスト削減に努めた。
- ・ 栄養管理システム、会計システム、支援記録・請求システム等ソフトの導入により業務の効率化を図った。

③ その他

- ・ 地域とのつながりを強化するために地域の各種行事への参加、学園祭への招待、近隣の小中学校との交流。公園等のごみ拾いを実施した。
- ・ 職員のスキルアップの為に虐待防止法の研修他行政機関や関係機関の実施する各種の研修に積極的に参加した。
- ・ 食堂での転倒リスクを減らす為、ひとつのグループの食事場所を変えたことにより食堂での動線を確保した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ 利用者の高齢化や介護度が高まったことにより居室スペースの確保が難しくなっている。居室の個室化、介護度の高い利用者に対応できる居室等のハード面の改修が必要。
- ・ 利用者の高齢化や重度化に対する入浴環境が整っていないために脱衣室の改修や特殊浴槽の導入など検討が急がれる。
- ・ 体育館(H5年建設)は地元団体に無料貸し出しを実施し社会体育館の性格が強くなり、また福祉避難所に指定されているが屋根の塗装が傷んで雨漏りがする恐れが出てきている。つくし棟屋根塗装を含め計画的な補修が必要になっている。

(3) 次年度以降の取組み

- ・ 権利意識の向上を図り、利用者への不適切な支援の一掃を図る。その為に積極的に研修に参加し職員のスキルアップを図る。
- ・ 第三者評価を受けセルフモニタリングを実施する。
- ・ 障害者支援南部事業部と連携を密にし、個別支援計画に沿った日中活動の充実と質の高いサービスに努める。
- ・ 夜間の施設入所サービスは地域移行を推進する方向で定員を縮小していき、短期入所は利用者ニーズが高いことから施設整備や受け入れ態勢を整えながら定員を増やしていきたい。また、家族、学校、相談事業所、日中活動事業所等と連携を取っていきたい。
- ・ 日中サービスの生活訓練(定員6名)は平成26年3月までの2年間の期間終了後、平成26年4月からは該当者がいない状況なので(現在は休止中)今後も利用ニーズがなければ長野市と協議の上事業を廃止としたい。
また、地域福祉を推進していく立場から、生活介護の定員を74名から廃止した生活訓練の6名分を加えて定員80名とし、地域で生活している方やグループホームを利用している方に生活介護のサービスを提供していきたい。その為に送迎サービスを継続していく。

【指定管理者自己評価基準】

A: 計画や目標を上回る、B: 計画や目標をやや上回る、C: 計画や目標どおり、D: 計画や目標をやや下回る、E: 計画や目標を下回る